



会 期 | 2015年1月27日(火)～2月22日(日)  
 会期中の休館日 | 月曜日、国民の祝日・休日、2月18日(資料整理休館日)  
 開館時間 | 午前9時30分～午後5時  
 会 場 | 国際子ども図書館 3階ホール  
 主 催 | 国立国会図書館国際子ども図書館  
 厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/>)

◎ご利用について

展示資料は会場内で、ご自由に手にとってご覧ください。ご利用後はもとの場所にもどしてください。  
 返却場所がわからないときは、カウンター職員におたずねください。

◎書誌事項について

No.は会場に展示している資料の順番に対応しています。No.に「★」がついているものは特別推薦図書です。  
 書誌事項は、原則として国立国会図書館の目録と厚生労働省作成資料に従って、書名、対象、著者名等、出版社、出版年月、ISBN、当館にも所蔵がある資料には請求記号(カッコ内は子どものへや資料)、解説を掲載しています。

《展示リスト》 厚生労働省社会保障審議会推薦 児童福祉文化財(出版物)一覧

No.	書 名				対 象 当館請求記号
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	
	解 説				
★ 1	ゾウの森とポテトチップス				小学校中学年 小学校高学年
	横塚眞己人 しゃしんとぶん	そうえん社	2012年12月	978-4-88264-330-2	Y11-N13-L16
	<p>世界で起きている、森林破壊の現実を伝えます。          熱帯雨林の島、ボルネオ島。生物多様性の宝庫と思われている島ですが、今、自然が破壊され、ゾウを始めとした生物たちに危機が…。油をとるためのアブラヤシのプランテーションが広がり、生物たちのすみかがおびやかされています。アブラヤシからとれる油はポテトチップスの揚げ油や洗剤などに使われ、私たちの暮らしとは決して無縁ではありません。          わかりやすい文章と美しい写真で、子どもたちの社会を見つめる目を育てます。</p>				
2	クレイジー・サマー				中学生
	リタ・ウィリアムズ=ガルシア 作 代田亜香子 訳	鈴木出版	2013年1月	978-4-7902-3261-2	Y9-N13-L39
	<p>黒人公民権運動を背景にした、黒人家族のひと夏の生活を描いています。          1968年の夏、三姉妹は、家を出た母と初めて生活を共にするため、カリフォルニア州オークランドへ向かう。しかし、母セルシは詩人で、子育てや考え方の違いに驚きながらも文通を楽しみにするようになる。そこでブラックパンサー党のサマーキャンプに参加するうちに、長女デルフィーンは黒人の歴史に目を向けるようになる。クレイジーに見えた母の世界には、意外な真実が隠されていた。          少女の目を通し、家族や友情、革命になぞらえた成長を描きます。</p>				
3	はるかなるアフガニスタン				中学生
	アンドリュー・クレメンツ 著 田中奈津子 訳	講談社	2012年2月	978-4-06-217468-8	Y9-N12-J108
	<p>アメリカとアフガニスタン、2つの国に生きる子どもたちのお話です。          アメリカに住むアビーは、学校の課題でアフガニスタンに住む小学生に手紙を書くことになった。送られてくる絵や手紙の内容に、自分との生活や考え方の違いに驚きながらも文通を楽しみにするようになる。しかし、アビーが出した封筒のアメリカ国旗の切手がアフガニスタンで兵士に見つかり、2人の文通はあっけなく終わりにさせられてしまうのだった。          自分と異なる価値観を持つ友人を得ることの大切さが感じられる作品です。</p>				
4	木の葉のホームワーク				中学生
	ケイト・メスナー 著 中井はるの 訳	講談社	2012年10月	978-4-06-283222-9	Y9-N12-J293 (933-メス)
	<p>少し不器用だけれど一所懸命な15歳の少女の姿が、読み手をひきつけます。          両親と祖母、弟と暮らす少女ジーナ。クロスカントリーの花形選手として練習に励んでいる毎日だが、勉強もしっかりするようにと先生に言われてしまう。家では、物忘れが多くなってきた祖母や、その現実から目をそらそうとする母との確執もあり、いくつもの問題を重ねていくジーナだった。          家族との確執、宿題の期限、身近な少年への恋愛感情など、同時にいくつもの問題を抱えている姿が、読み手の共感を呼ぶ作品です。</p>				
5	災害救助犬レイラ				小学校高学年
	井上こみち 著	講談社	2012年6月	978-4-06-217508-1	Y1-N12-J252
	<p>人と動物との絆を描いたノンフィクションです。          東日本震災が発生すると、災害救助犬レイラと訓練士の村田さんはいち早く被災地へかけつけました。岩手県大船渡市から宮城県気仙沼市まで、1週間に及ぶ捜索活動が始まりました。優れた嗅覚を生かし生存者を探し出すのがレイラの仕事ですが、見つかるのは亡くなっている人ばかり。初めて出会う遺体に戸惑いながらも、レイラは村田さんに喜んでほしい一心で、生存者を探し続けました。          命を見つける犬、災害救助犬の認知と理解を深め、災害を風化させないためにもぜひ読みたい作品です。</p>				

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

6	<b>ほんとうの「ドラッグ」</b>				中学生・高校生
	近藤恒夫 著	講談社	2012年4月	978-4-06-217403-9	Y1-N12-J207
<p>自身が薬物依存から立ち直った過去をもつ著者が、子ども向けに語るノンフィクションの作品です。ドラッグとは実際どのようなものなの？使用するとそんな感じになるの？依存しないためにはどうしたらいいの？など著者が自身の体験を通じて、具体的にドラッグの真実を伝えます。依存は病気であることを理解すること、また、そもそも依存をしないためには、よい人間関係を築くことが大切、という信念が、語りのベースとなっています。</p> <p>実験をベースにした、説得力のある文体で読者に語りかけることで、ほんとうの「ドラッグ」のことを理解することができます。</p>					

7	<b>わたしが山おくにすんでいたころ</b>				小学校高学年
	シンシア・ライラント 文 ダイアン・グッド 絵 もりうちすみこ 訳	ゴブリン書房	2012年10月	978-4-902257-26-7	Y18-N13-L97
<p>アメリカ東部アパラチア山脈の小さな炭鉱町で、寡黙な大人たちに見守られながらいとこたちと思ひ切り駆け回った日々を温かく綴った作者の自伝的絵本です。</p> <p>夕方になると、石炭の粉で真っ黒になって帰ってきた祖父。夕ご飯のテーブルに、ほかほかのとうもろこしパンと豆のシチュー、オクラのフライを並べてくれた祖母。電気も水道もなく傍に両親もいなかったけれど、私はいつも満ち足りていた…。</p> <p>離婚した母親が看護師の資格を取るまでの4年間、祖父母の元へ預けられた経験を肯定的に描いており、作品の中に満ち足りた幸福感があふれています。</p>					

8	<b>岩をたたくウサギ：サバンナのむかしがたり</b>				幼児・小学校低学年
	よねやまひろこ 再話 シリグ村の女たち 絵	新日本出版社	2012年4月	978-4-406-05576-5	Y17-N12-J469
<p>ガーナの伝統的な手法で描かれた象徴的な絵が印象的です。</p> <p>サバンナの夜明けです。クルクルウー！オンドリがけたたましく鳴きました。集合の知らせです。「人の悪口を言うのはよくない」サバンナ動物たちは、人の悪口を言ったらその場で皮になってしまうと誓い合いました。でも、それはずるがしこいウサギのたくらみだったのです。ウサギは、動物たちが悪口を言うように、次々作戦を考えます。ウサギはたくさんの皮を手に入れるのですが…。</p> <p>絵の色や背景にもたくさんの意味が込められています。日本と異なる外国の自然観が伝わる作品です。</p>					

9	<b>熱帯雨林のコレクション</b>				小学校中学年 小学校高学年
	横塚眞己人 写真・文	フレーベル館	2012年6月	978-4-577-04015-7	Y11-N13-L249
<p>熱帯雨林をライフワークとしてきた著者の写真が、臨場感のある空気を伝えています。</p> <p>緑深い生命の森、熱帯雨林。日本では体感することのできない世界を、たくさんの写真で様々な視点から紹介します。そこにあるのは支え合い、時には命を奪うという命のつながり。大切な生命の営みが描かれています。豊かな森のもうひとつの真実、「破壊」されゆく様子も克明に紹介しています。</p> <p>生物多様性、環境問題、異文化など多くの視点から子どもたちに考えるきっかけとテーマを与えています。</p>					

10	<b>名前をうばわれた少女：わたしはエファじゃない</b>				中学生・高校生
	ジョアン・M・ウルフ 作 日当陽子 訳 朝倉めぐみ 絵	フレーベル館	2012年8月	978-4-577-04024-9	Y9-N12-J248 (933-ウル)
<p>第二次世界大戦中、痕跡も残さず地図から消されたチェコスロヴァキアの小さな街リディツェの物語です。</p> <p>この街に暮らしていた11歳の少女ミラダはナチスによって故郷を奪われ、家族を奪われ、名前さえも奪われた。ミラダはエファというドイツ名をつけられ、ドイツ人教育を強要されながらも、自らのアイデンティティを失わないよう、闘う。</p> <p>人間の残酷さと、悲惨な境遇に対し前向きに生きようとする力、繁栄するすばらしい力を描いています。ナチスのユダヤ人迫害についての書籍が多い中、ユダヤ人以外の「ドイツ人化計画」について記した貴重な1冊です。</p>					

11	<b>世界のふしぎな虫おもしろい虫</b>				小学生以上
	今森光彦 著 塚田悦造, 市川顕彦 監修	アリス館	2012年8月	978-4-7520-0589-6	Y11-N12-J597 (486-ムシ)
<p>241点の昆虫の実物大写真が収められており、図鑑としても大変貴重な1冊です。</p> <p>木の葉にそっくりなコノハムシ、ワニのような顔のユカタンピワハゴロモなど、色や形、くらしぶりが面白い虫たちを、一同に見せます。前半は大きな写真と楽しい解説で約70種、後半は実物大で数百種を紹介。</p> <p>昆虫たちの勇ましさ、美しさをもっとも特徴のわかる角度から撮影しています。著者の名づけたユニークなニックネームや臨場感あふれる体験の文で、子どもたちが共感して読むことができます。</p>					

12	<b>発電所のねむるまち</b>				中学生以上
	マイケル・モーバーゴ 作 ピーター・ベイリー 絵 杉田七重 訳	あかね書房	2012年11月	978-4-251-07304-4	Y9-N12-J319
<p>原子力発電所のあり方を考えるきっかけとなります。</p> <p>マイケルはミセス・ペティグルーのくらす湿地の客車へ行くのが大好きだった。ペティグルーさんは亡き夫の愛した土地でロバや犬、ニワトリとひっそりとくらしていた。しかし、原子力発電所の建設計画がもちあがり、ペティグルーさんのくらしが脅かされていった。滝のように降る流れ星、生命に満ちあふれた湿地。その湿地が原子力発電所の建設予定地になったとき、マイケルは…。</p> <p>「何事も変化しないものはない」と考える主人公の姿を通し、自然と人間の生活の調和を考えさせられます。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

13	<b>ハクチョウ 水べに生きる</b>				小学校中学年 小学校高学年
	嶋田哲郎 文 伊藤利喜雄 写真	小峰書店	2012年9月	978-4-338-27002-1	Y11-N12-J694 (488-ハク)
<p>日本を代表するハクチョウの飛来地である、宮城県北部の伊豆沼・内沼で観察されたハクチョウの生態を紹介した写真絵本です。毎年秋になると、ロシア北東部から海を渡って日本にやってくるハクチョウ。春まで、沼や湖などの水辺でくらすハクチョウを見守り観察を続ける著者が、冬の間のハクチョウのくらし、人とのかかわりを紹介します。</p> <p>ハクチョウを始めとした生物が生活できる環境を整えるために、地元の人たちが努力している姿も伝えています。</p>					

14	<b>アザラシ流氷の海へ</b>				小学校中学年 小学校高学年
	廣崎芳次 文 原志利 写真	小峰書店	2012年11月	978-4-338-27003-8	Y11-N12-J784 (489-アザ)
<p>日本で唯一、アザラシのみを保護する施設「オホーツクとつかりセンター」を立ち上げた著者と、地元でアザラシを撮り続けてきた写真家による愛情あふれる1冊です。</p> <p>流氷がオホーツク海に現れる季節に、アザラシは流氷の上で子どもを産み、子育てをする。しかし、海が荒れ、親子がはぐれたり、流氷がとけたりしたらどうなるのか？北海道紋別市の「オホーツクとつかりセンター」では25年も前から赤ちゃんアザラシを保護し、元気な体で海に帰す活動をしてきた。</p> <p>今、共に生きる仲間としてアザラシと人間とのかかわり方の未来を考えます。</p>					

15	<b>ぼくはここで、大きくなった</b>				小学校中学年
	アンヌ・クロザ さく こだましおり やく	西村書店	2012年6月	978-4-89013-933-0	Y18-N12-J185
<p>フランスで「科学の本」賞を受賞した、ある種の一生を描いた作品です。</p> <p>ちっぽけな「種」だった「ぼく」。たまたまぼりと落ちた場所がぼくの生きる場所。秋は落ち葉の布団で眠り、春には種の殻が取れてはつばが出た。そしてぼくのそばを通り過ぎるたくさんの生き物たち。やがて何度も季節がめぐり、ぼくは実をつけ、命をつないでいく…。</p> <p>生命の強さ、たくましさ美しく、洗練されたタッチで伝える科学絵本です。</p>					

16	<b>ペンギンペペコさんだいかつやく</b>				小学校低学年
	西内ミナミ 作 西巻茅子 絵	鈴木出版	2013年5月	978-4-7902-3271-1	Y8-N13-L445
<p>役に立ちたいと願って、めげることなく自分探しをするペンギンの姿が、これからの未来を自分で創り出す子どもたちの姿と重なります。</p> <p>マリナ水族館で生まれたペンギンのペペコさんは、ショーにでるために、いつも数字のおけいこをしています。でも、なかなか覚えられません。「こんなことしてなんの役に立つのかしら。もっと役に立つことをしたい！」…好奇心旺盛なペペコさんは、いろいろなものと出会い、積極的に関わることで自分探しに成功します。</p> <p>与えられた立場や仕事に流されることがなかった主人公の姿に見習うところがたくさんある一冊です。</p>					

17	<b>マルセロ・イン・ザ・リアルワールド</b>				高校生
	フランシスコ・X・ストーク 作 千葉茂樹 訳 (ダン・マッカシー 画(カバー))	岩波書店	2013年3月	978-4-00-116403-9	Y9-N13-L102
<p>社会に出て行く若者が経験する不安や成長を、発達障害の少年の内面から描く、さわやかな青春小説です。</p> <p>発達障害のマルセロは17歳。「リアルな世界」を経験してほしいという父親の望みに応え、ひと夏の間、法律事務所で働くことに。新しい出会いに仕事に戸惑いながらも、試練の毎日乗り越えていきますが、ある一枚の写真から、事務所の秘密を知ってしまい、重大な決断を迫られます。</p> <p>発達障害の主人公が悩み、決断！内容はエンターテインメント、青春小説としても一級で、誰が読んでも十分に楽しめる作品です。</p>					

18	<b>イソップのおはなし</b>				小学校中学年 小学校高学年
	イソップ [原作] バーバラ・マクリントック 再話・絵 福本友美子 訳	岩波書店	2013年1月	978-4-00-111236-8	Y18-N13-L68
<p>世界中で読み継がれてきた、おなじみの世界の名作イソップのおはなし、楽しんでください！</p> <p>人気作家 バーバラ・マクリントック氏が贈る、楽しくゆかいなイソップ絵本です。</p> <p>「キツネとツル」「キツネとブドウ」「町のネズミといなかのネズミ」など、おなじみのお話を九つ収録。クラシカルな衣装に身を包んだ動物たちが、ときにユーモラスに、ときに表情たっぷり、イソップ特有の寓話(ぐうわ)の魅力を味わえる作品です。</p> <p>それぞれの寓話の教訓を生かしつつ、読みやすく、大人も子どもも大いに楽しめます。読み聞かせにもぴったりの一冊です。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

ねずみのオスカーとはるのおくりもの					小学校低学年
★ 19	リアン・ホーバン 作 みはらいずみ 訳	のら書店	2012年11月	978-4-905015-09-3	Y9-N12-J338
	<p>春を待ち続ける、ねずみの親子のあたたかいお話です。彩り豊かで、美しい絵も楽しんでください。</p> <p>寒い冬、ねずみのオスカーとお父さんは、毎日食べ物を集めに出かけます。もうすぐ生まれる赤ちゃんのために、わらも手に入れなければいけません。しかし納屋には、ねこが住みついでいて、なかなか近寄れません。さまざまな困難に陥りながらも互いを思いやる家族の姿と、春を迎える喜びを描いた、心温まるお話です。</p> <p>愛らしく、がんばりやのねずみの親子を通して、周りの人を思いやり、支え合うことの大切さを伝えています。愉快で、大人も子どもも楽しめる作品です。</p>				

クモの巣図鑑：巣を見れば、クモの種類がわかる!					小学校中学年以上
20	新海明 著 谷川明男 写真	偕成社	2013年3月	978-4-03-527990-7	Y11-N13-L128
	<p>今までありそうでなかった、クモの巣の形からクモの種類がわかる、世界初の「クモの巣図鑑」です。</p> <p>身近に見られる約40種類のクモの巣を、形の特徴によって7つに分類。巣の大判写真、巣をつくったクモを図鑑的に紹介。巣の検索は、形のほか、巣のある環境や、巣の大きさでも可能。変わった巣を作るクモのほか、何のために巣を作るのか、どうやって巣をつくるのか、クモの糸のふしぎなど、クモの巣のひみつも大公開しています。</p> <p>クモやクモの巣は、あまり歓迎される存在ではありませんが、本作品を読むと「クモってそうなんだ」「巣の作り方がすごい」と、すごく興味がわいてきますよ。毒グモ「セアカゴケグモ」も出てきますよ。</p>				

ライオンをかくすには					幼児
21	ヘレン・ステューヴンズ 作 さくまゆみこ 訳	ブロンズ新社	2013年3月	978-4-89309-560-2	Y18-N13-L85
	<p>ライオンが街へ買い物に出かけますが、街の人たちに追いかけてしまいます。少女アイリスはライオンを助け、お部屋に隠してあげることに…。</p> <p>ぼうしを買いに、街にやってきたライオン。でも街の人たちはライオンをこわがって、追いかけます。アイリスは、庭に逃げ込んできたライオンを、子ども部屋に隠してあげることにしました。けれども、そう簡単にはいきません。大きいし、もじやもじやだし、重たいし…。眠るともっと重たくなるみたい！さてアイリスは、いつまでライオンをかくしておけるでしょうか…。</p> <p>動物と人間の関わりをやさしく、あたたかな言葉でまとめ上げた作品です。ライオンの愛くるしい表情に心がなごみます。</p>				

勇者のツノ：化石が語るトリケラトプスの話					幼児・小学校低学年
22	黒川みつひろ 作	こぐま社	2013年6月	978-4-7721-0217-9	Y17-N14-L142
	<p>植物食恐竜トリケラトプスのツノの化石には、ティラノサウルスとの戦いの傷跡がのこるものがあります。そこで、作者は、子どもを守るために戦ったお父さん恐竜もいたのではないかと想像をふくらませ、物語を考えました。</p> <p>白亜紀末期、トリケラトプスのお父さん、お母さん、5頭の子もたちは、他の家族と群れをつくって暮らしていました。ある日、お父さんの屋敷中に、お母さんと子どもたちがおいしい草を食べに出かけると、そこへティラノサウルスが…。</p> <p>子どもたちに、化石から想像することの楽しさを伝えます。また、この絵本のように、恐竜の姿をみることができるのは、化石をもとにした調査や研究があるからです。子どもたちにこのことに気づいてもらえる作品です。</p>				

負けないパティシエガール					小学校高学年 中学生
23	ジョン・パウアー 著 灰島かり 訳	小学館	2013年6月	978-4-09-290573-3	Y9-N13-L159
	<p>主人公のフォスターは、いろいろな問題を抱えながらも、ひたむきに頑張る女の子です。はたしてパティシエになれるのか。さわやかな感動作品です。</p> <p>パティシエになる夢を持つフォスターのつくるカップケーキは、食べた人を幸せな気分にしてくれます。そんな彼女は字が読めません。「いつも学校では、おちこぼれでした。でも料理をしているときは、世界に立ち向かえる、そんな気になれたんです」と語るフォスター。持ち前の明るさとカップケーキを武器に、自分の未来を切り開いていく物語です。</p> <p>「大きな問題に立ち向かうときは、どこでもいいから、まずスタートすることが大事よ」「きみらしくやればいいんだ。それが一番だよ」心に響く名言が多く、子どもたちを励ましてくれる作品です。</p>				

エルトゥールル号の遭難：トルコと日本を結ぶ心の物語					中学生以上
24	寮美千子 文 磯良一 絵	小学館クリエイティブ	2013年6月	978-4-7780-3759-8	Y1-N13-L256
	<p>国家や民族を超えて、人と人の善意や慈愛の心で、トルコを世界一の親日国にした、トルコと日本を結ぶ心の物語です。1890年イスタンブールからやってきた軍艦エルトゥールル号が帰途、沈没した。大荒れの夜の海で、串本・紀伊大島の人々が乗員69名を救助し、イスタンブールへ無事送り届けた。それから100年後、1985年イラン・イラク戦争で215名の日本人がトルコの救援機に救われた。日本の感謝の言葉に対し「トルコ人ならエルトゥールル号のことは知っている。恩を少し返しただけです。」こうして、世界一の親日国は誕生した。</p> <p>日本ではあまり知られていないトルコと日本の胸が熱くなる物語。多くの日本の子どもたちに読んでもらい、知ってもらいたいお話です。</p>				

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

さかさまになっちゃうの					幼児
25	クレア・アレクサンダー さく 福本友美子 やく	BL出版	2013年3月	978-4-7764-0564-1	Y18-N13-L96
	<p>子どもたちは学校で長い時間を過ごします。そんな大切な時間に気にかかること、悩みがあれば、つらいもの。そんな学校での様子を描いた作品です。</p> <p>校長先生にわたす誕生日のカードを書くことになりました。アルフィーはカードに絵を書きはじめましたが、先生は「絵を描く前に、字を書きましょう」と言いました。アルフィーは、先生のお手本を見ながらゆっくり書きますが、字の形が上下さかさまになったり、左右逆になったりします。「どうしよう、先生に教えてもらいたいけれど…？」アルフィーは、胸がどきどきしてきました。</p> <p>「字がうまく書けない」、「聞きたくても聞けない」…。自分ならどうするかな、こんな友だちがいたらどうするかな、自分の身近な問題として考えることができる一冊です。</p>				

三本の金の髪の毛：中・東欧のむかしばなし					小学校中学年 小学校高学年
26	松岡享子 訳 降矢なな 絵	のら書店	2013年4月	978-4-905015-10-9	Y9-N13-L124 (9-3.39-サン)
	<p>中・東欧で長く語りつがれてきた、お話16編を、美しい挿絵とともに楽しめる一冊です。</p> <p>旧チェコスロバキア、ルーマニア、旧ユーゴスラビア、ポーランド、ハンガリーのふしぎな魅力に満ちた昔話16編を収録しています。表題作「三本の金の髪の毛」をはじめ、「父さん子と母さん子」、「水底の主ニッカーマン」、「羊飼いの花たば」、「カエル嫁」、「子どもと馬」など、味わい深く、親しみやすいお話を、美しくイメージゆたかな絵で楽しめます。</p> <p>王子様やお姫様、魔女などが登場、読み聞かせにも、子どもたちが自分で読む本としても最適な一冊です。</p>				

うちは精肉店					小学校中学年 小学校高学年
★ 27	本橋成一 写真と文	農山漁村文化協会	2013年3月	978-4-540-12222-4	Y1-N13-L113
	<p>家族で肉屋を営む北出さん一家の食べ物がある過程で作られ、届けられるかを教えてくれる写真絵本です。</p> <p>肉を小売りするだけの肉屋とはちがひ、大阪・貝塚市にある北出精肉店では代々、牛の飼育から屠畜(とちく)・精肉までを家族で営んできた。自分たちが育てた牛の命をいただくことで、おいしい肉やモツが生まれる。皮は太鼓の革となってだんじりの夜に鼓動を響かせる。家族で肉屋を営む北出さん一家の仕事をしていねいに描いています。</p> <p>「命をいただいて生かされている」「生きることは命をつなぐこと」に改めて気づき、命を尊重し、他者を思いやる気持ちを育てることが伝わってくる作品です。</p>				

マリアンは歌う：マリアン・アンダーソン100年に一度の歌声					小学校高学年 中学生
★ 28	パム・ムニョス・ライアン 文 ブライアン・セルズニック 絵 もりうちすみこ 訳	光村教育図書	2013年1月	978-4-89572-852-2	Y3-N13-L26
	<p>黒人プロ歌手の第一人者 マリアン・アンダーソンを描いた初の絵本です。黒人差別とたたかい、黒人音楽家の道をひらいたノンフィクション作品です。</p> <p>才能、絶え間ない努力、周囲の協力により、プロ歌手として成功を収めたマリアン・アンダーソン。ヨーロッパでは、その人氣が「マリアン・フィーバー」と報じられ、トスカ二氏が「100年に一度の歌声」とたたえました。根強く残る差別に対し、歌うことで、自身の、そして後に続く者の道をひらいた黒人プロ歌手を描いた絵本です。</p> <p>シンプルな文章と色味をおさえたイラストで、歌うことに全身全霊をささげ、静かにたたかったマリアン・アンダーソンの生涯を感動的に描いた一冊です。</p>				

メルリック：まほうをなくしたまほうつかい					幼児 小学校低学年
29	デビッド・マッキー 作 なかがわちひろ 訳	光村教育図書	2013年1月	978-4-89572-854-6	Y18-N13-L34
	<p>魔法使いのメルリックを通して、便利さと引き換えにしている大切な何かについて考えさせられる作品です。</p> <p>人間の仕事を何でも魔法でホイホイやってあげていた心優しい魔法使いのメルリック。そんな彼はいつでも大忙し。一方人間は、のんびんだらり。ところがある日メルリックの魔法が底をつき、人間は大混乱！ 徐々に自分の手足を使って働いてみると、まぬけな失敗ばかり。メルリックは、魔法大王に「おまえのしたことは、魔法のむだづかい」と叱られてしまい…。</p> <p>現代の私たちは、生活を楽にしてくれるさまざまな電化製品など「まほうの力」に頼ってくらしています。この電化製品などがなかったら？ 便利な現代に生きる私たちに、しっかりと向きあって考えて欲しいという決意が感じられる作品です。</p>				

命のバトン：津波を生きぬいた奇跡の牛の物語					小学校高学年
30	堀米薫 文	佼成出版社	2013年3月	978-4-333-02592-3	Y11-N13-L170
	<p>東日本大震災の津波から奇跡的に生き抜いた牛たち。牛のコンテストに挑戦する農業高校の生徒たちの頑張りを描いた作品です。</p> <p>東日本大震災で、大津波に襲われた宮城農業高校。教師らは生徒を全員避難させたあと、大切に育ててきた牛の命も救おうと、津波の到来直前に牛舎に向かいます…。牛たちは津波に何キロも流されながらも、奇跡的に生き残ったのです。勇気ある行動が起こした奇跡と、その後、校舎や施設がすべて流され授業もままならない状況で、牛のコンテストに挑戦していく高校生たちの姿を描いた、感動の物語です。</p> <p>畜産に対する高校生の熱い思い、牛へのあたたかい愛情が伝わる作品です。</p>				

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

31	<b>お人形屋さんに来たネコ</b>				小学校中学年 小学校高学年
	ヨナ・ゼルデイス・マクドノー 作 おびかゆうこ 訳 杉浦さやか 絵	徳間書店	2013年5月	978-4-19-863613-5	Y9-N13-L126
<p>ネコの親子を見守りながら、アメリカへ渡ってきた「いとこ」の力になるうとがんばる少女の姿をいきいきと描く物語です。 11歳のアナは三人姉妹のまん中。パパとママは、ここニューヨークで小さなお人形屋さんを開きお人形を作って売っています。ある日パパたちのふるさとロシアから、いとこのタニアが来て、アナの家にはばく住むことに。ところが、タニアはうち解けません。同じ頃、裏のアパートの階段でネコが子ネコを生みました。でも、そのアパートに住むいじわるな男の人が、ネコたちを追い出してしまいい…？ けして裕福ではない移民街の職人家族。だが、大人たちは、より貧しい親戚を助けようとし、子どもたちは、いとこの心を開かせようと奮闘する。歴史的な事実が巧みに織り込まれており、「人のためにできることは何か」を、子どもたちに考えさせる作品になっています。</p>					

32	<b>チビウオのウソみたいなホントのはなし</b>				小学校低学年
	ジュリア・ドナルドソン 文 アクセル・シェフラー 絵 ふしみみさを 訳	徳間書店	2012年8月	978-4-19-863468-1	Y18-N12-J232
<p>誰にも負けない想像力を持つ、小さくて、じみなチビウオ。得意なお話を使って、ピンチを切り抜けるゆかいな魚の絵本です。 チビウオは、ちっちゃくて目立たないさかな。でも、みんながびっくりするようなお話を考えるのが大好き。毎朝学校に遅刻しては、「おばけイカにつかまっちゃった」「難破船で宝箱の中にとじこめられて人魚にたすけてもらっちゃった」と理由を説明します。ところが、ある朝チビウオは漁師につかまったあと、迷子になってしまいます。すると、聞いたことのあるお話が…？ 本作品の作者と画家による絵本は、世界で高い評価を得ています。ストーリーは、子どもたちを励まし、またユーモラスな絵は、子どもたちの想像力を育て、共感できる作品です。</p>					

33	<b>セコシア：世界でいちばん高い木のはなし</b>				小学生
	ジェイソン・チン 作 萩原信介 訳	福音館書店	2011年11月	978-4-8340-2657-3	Y11-N12-J19
<p>世界で一番大きくなる木、セコシア。その生態及びいろいろな情報を、初歩からかなり専門的なものまで伝えてくれる科学絵本です。 少年がふと手にした本は“セコシア”について描かれたもの。読み進むうちに、不思議なことが起こり始める。「今あるセコシアの木が芽生えたのは、ローマ時代」だと知った少年のとなりには、ローマ時代の人が座っている。本を読みつつ駅を出ると、そこは、セコシアの森だった…。セコシアのすべてを描きだす、新しい視点で作られた物語です。子どもたちをセコシアの深い森へと案内してくれます。</p>					

34	<b>おいしいよ！はじめてつくるかんこくりょうり</b>				小学生 家庭
	ペヨンヒ 文 チョンユジョン 絵 かみやにじ 訳	福音館書店	2013年5月	978-4-8340-2775-4	Y1-N13-L255
<p>韓国料理を子どもと一緒につくりよう！という料理の絵本です。 チャプチェ、かぼちゃのお粥、ブルコギ…。だんだん身近になってきた韓国料理のレシピが30種類も！「子どもと一緒に」がコンセプトなので、料理はどれもシンプルで手元にある調味料で作れます。でも、味はちゃんと韓国料理！手順もイラストで紹介され、わかりやすく、「隣の国」の文化を知るのに、最適な一冊です。 子どもたちに海外の国に、親しみと興味を持ってほしい。この思いを実現するのに、「食べ物」は、最適です。料理を通して、海外の国に対する子どもたちの思いが変わっていくかもしれません。</p>					

35	<b>ちきゅうがウンチだらけにならないわけ</b>				幼児 小学校低学年
	松岡たつひで さく	福音館書店	2013年6月	978-4-8340-8008-7	Y11-N13-L466
<p>自然界におけるウンチの循環やその役割に焦点をあてた絵本です。食物連鎖の一翼を担う大切な存在だということを、楽しみながら理解できる一冊です。 いろいろな生きものがウンチをしたままでは、地球がウンチだらけになってしまうのでは？誰もが一度は心配したことがあるこの疑問について考え、自然の中で分解され循環していくウンチと、ウンチを活用して生きる生きものについて知り、自然界におけるウンチの役割について理解を深めます。 ウンチの自然界での役割を通して、現代の私たちの暮らしを、自然と対比させて考えさせてくれる作品です。</p>					

36	<b>空とぶペーター</b>				小学校低学年 小学校中学年
	フィリップ・ヴェヒター 作絵 天沼春樹 訳	徳間書店	2013年7月	978-4-19-863640-1	Y18-N13-L193
<p>空をとべる男の子の冒険物語で、わくわくしながら読み進められます。 ペーターは、赤ちゃんの時から、しぜんに空をとべる男の子。あるとき、家族で南の島に旅行することになり、お父さんとお母さんは飛行機で、ペーターは、空をとんでいくことにしました。途中でわたり鳥といっしょに旅をします。ところが、鳥をつかまえる悪いやつに、一羽がつかまってしまいました。たいへんだ！みんなで助けにいかなくちゃ！大冒険のはじまりです。 子どもたちの夢・あこがれ「空をとぶ」感覚をいっしょに楽しめ、悪いやつを退治する爽快な物語です。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

37	<b>図書館に児童室ができた日：アン・キャロル・ムーアのものごと</b>				小学校中学年 小学校高学年
	ジャン・ピンボロー 文 デビー・アトウェル 絵 張替恵子 訳	徳間書店	2013年8月	978-4-19-863657-9	Y3-N13-L174
<p>図書館に児童室を創設した一人の女性の生涯を通して、図書館児童室の歴史を語る絵本です。 19世紀の終わりのアメリカ。女性が自分の考えで仕事を選ぶことがめずらしかった時代、小さな町に生まれ育ったアン・キャロル・ムーアは、自分の考えをしっかりと持った女の子でした。やがて、ニューヨークで図書館学を学んだのち、ニューヨーク公共図書館の児童室の創設にたずさわります。</p> <p>図書館を子どもたちにも身近な場所にするため、努力したひとりの女性の物語です。親しみやすく、手に取りやすい、教室での読み聞かせにもぴったりの作品です。</p>					

38	<b>ふしぎなボジャビのき：アフリカのむかしばなし</b>				幼児 小学校低学年
	ダイアン・ホフマイアー 再話 ピート・フロプラー 絵 さくまゆみこ 訳	光村教育図書	2013年5月	978-4-89572-858-4	Y18-N13-L145 (E3-4-F3)
<p>アフリカの昔ばなしです。作者はアフリカの伝統的な親指ピアノ(ムビラ)を使って、このお話を語り伝えてきたとのこと。日照りのサバンナに実る不思議な木の実。でも、根元に大きなへびがいて、空腹の動物たちは、近づく事ができません。へびは「木の名前を当てたら、どくよ」と言います。動物たちは次々に遠くにいるライオン王の元へ名前を聞きにいきますが、みな帰り道に忘れてしまい…。</p> <p>本作品の原書には、動物たちが間違える名前を、アフリカらしい模様の描き文字にしています。日本語版は、この模様を参考にして、デザイナー森枝雄司氏によって描き下ろしています。この描き文字も楽しめる一冊になっています。</p>					

39	<b>紙のむすめ</b>				小学校高学年
	ナタリー・ベルハッセン 文 ナオミ・シャピラ 絵 もたいなつう 訳	光村教育図書	2013年8月	978-4-89572-859-1	Y18-N13-L211
<p>日本でほとんど紹介されていない、イスラエルの翻訳絵本です。夢を愛を伝えてくれるイスラエルの美しい切り絵絵本です。白い紙でできた小さな家に、白い紙から生まれたひとりの娘が住んでいた。ある日風によって、大きな白い紙が一枚とんできた。娘はその紙から、気球、帆掛け船…と、夢見たあれこれを切り抜くが、喜びを分かち合える相手がいないと悲嘆にくれる。そんな娘の前に、紙のなる木が！娘が次に切り抜いたのは、たくさんの生きものと娘の家にそっくりな家。その家からだれかが手を振って…。</p> <p>胸をゆさぶるファンタジックなストーリーで、見事な切り絵は、ため息がでるほど繊細で美しい。</p> <p>年代を超えて、おおいに楽しんでいただきたい作品です。</p>					

40	<b>ちびはち</b>				幼児
	エドワード・ギブス 作 谷川俊太郎 訳	光村教育図書	2013年8月	978-4-89572-863-8	Y18-N13-L210
<p>動物たちの表情が豊かに描かれたイラスト。言葉のリズムと、くりかえしを楽しむ絵本です。 「ちびはち ちびはち なんでにげるの？」「はらべこがえるが おつてくるから！」はちは、かえるに追いかけられ、かえるは、へびに追いかけられ、へびは、マンゲースに追いかけられ…。ジャングルでくりひろげられる、豊かなおいかけっこ。ページをめくると新たな動物が現れ、お話の最後には、あっとおどろく仕掛けが。</p> <p>展開の予測は無理なく、物語はテンポよく進行しており、子どもたちの想像力をおおいにはぐくむ楽しい作品です。</p>					

41	<b>ハンヒの市場めぐり</b>				幼児 小学校低学年
	カンジョンヒ 作 おおたけきよみ 訳	光村教育図書	2013年2月	978-4-89572-837-9	Y18-N13-L76
<p>韓国の食文化や庶民の生活の様子を紹介する絵本です。 ハンヒはオンマと手をつないで、晩ご飯のお買い物に出かけました。ハンヒが住む町には、路地を入ると市場があります。お店やカラフルなテントが軒を連ね、山盛りになった果物、地べたに広げられた野菜、びちびちはねる魚、積み上げられたサンダル…。おいしいもの、おもしろいものがいっぱい！食べ歩きや顔見知りのおばさんとおしゃべりも楽しい！</p> <p>日本で紹介されることが少ない韓国の翻訳絵本です。音やおいまでも想像させるイラストは何度見ても飽きません。新しい発見を楽しんでください。</p>					

42	<b>若草物語上・下</b>				小学校高学年 中学生
	ルイザ・メイ・オルコット 作 海都洋子 訳 (バーバラ・クーニー 画)	岩波書店	2013年8月	Ⓔ978-4-00-114218-1 Ⓕ978-4-00-114219-8	ⒺY7-N13-L220 ⒻY7-N13-L221
<p>アメリカ児童文学の不朽の名作が、読みやすい新訳になり、アメリカを代表する挿絵画家であるバーバラ・クーニー氏の版画が、物語をいどころります。</p> <p>南北戦争に従軍牧師として父を送ったマーチ家。メグ、ジョー、ベス、エイミーの四人の姉妹が、愛情深い母親に導かれながら、つつましくとも心清らかに成長する日々を描いています。</p> <p>定番の一冊として、子どもたちに、末永く読み継がれることを願っています。またクーニー氏の作品で版画はめずらしく、物語といっしょに楽しんでいただきたいです。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

43	<b>そんなときどうする？</b>				小学校低学年 小学校中学年
	セシル・ジョスリン 文 モーリス・センダック 絵 こみやゆう 訳	岩波書店	2013年9月	978-4-00-115401-6	Y18-N13-L274
<p>絵本界の巨匠センダック氏の絵の魅力がたっぷり味わえる絵本になっています。          きみが海賊と一緒に宝箱を掘りあてたら、屋ごはんの合図があった。そんなときどうする？きみがこおりの家で肉を食べていたら、ホッキョクグマがやってきた。そんなときどうする？おかしな場面設定につられて、ひねった答えを考えながら頁をめくると、意表をつくすました答え。それもそのはず、これは「紳士淑女のための礼儀作法の本」なのですから。          紳士淑女になったつもりで答えを考えてみましょう。痛快で、読むほうも、読んでもらうほうも心がはずむ作品になっています。</p>					

44	<b>ゼロくんのかち</b>				小学校中学年
	ジャンニ・ロダーリ 文 エレナ・デル・ヴェント 絵 関口英子 訳	岩波書店	2013年9月	978-4-00-115402-3	Y18-N13-L275
<p>スタンプのような数字に、顔や手足を加えたイラストの主人公たち。楽しいお話ですよ。          どの数字とくらべっこをしても、いつも負けてばかりのゼロくん。誰もいっしょにあそんでくれません。ところがある日、落ち込んでいる“いちくん”を誘ってドライブに出かけたら、道ばたで“さんちゃん”や“ななちゃん”が、おじぎをするではありませんか！ゼロくんがみんなに一目おかれ、人気者になったわけは？          ちょっとした発想の転換で物の見え方が変わるおもしろさがあります。年代を超えて楽しんでいただきたい作品です。</p>					

45	<b>おひめさまとカエルさん</b>				幼児
	ハーヴ・ツェマック、ケーテ・ツェマック 文 マーゴット・ツェマック 絵 福本友美子 訳	岩波書店	2013年9月	978-4-00-115403-0	Y18-N13-L276
<p>ツェマック親子がつくった、思わずクスツと笑ってしまう、楽しい絵本です。          おひめさまが池にボールをおとしてしまったり、お店でおつりをなくしてしまったり。はたまた王様の頭に鳥がとまるので、困って泣いていると、いつもカエルさんがやってきて、「どうしたのよ？」と助けてくれます。おひめさまは、ピンクのワンピースをきた女の子、おきさき様はエプロンをしたお母さん、王様は格好は立派だけど、頭のはげたお父さん。          ツェマック氏の長女が末妹に語り聞かせたお話をもとに作られた絵本で、家族みんなで楽しめる一冊です。</p>					

46	<b>ツバメ号の伝書バト 上・下</b>				小学校高学年
	アーサー・ランサム 作 神宮輝夫 訳	岩波書店	2012年10月	Ⓔ978-4-00-114180-1 Ⓕ978-4-00-114181-8	ⒺY7-N12-J330 ⒻY7-N12-J331
<p>本作品は、ランサムシリーズの6作目で上下2巻です。今度は高原で、金鉱をさがす物語です。          夏、いつもの湖のほとりに集まったツバメ号、アマゾン号の乗組員と、Dきょうだいの八人は、今度は高原で金鉱探しをすることに。自分たちのキャンプをはって、ハトをとばして連絡をとりあい、大活躍の子どもたちでしたが、別に金をねらっているらしい「つぶれソフト」が行く先々にあらわれて…。さあ、夏休みが始まります。          自分たちのキャンプをはって、金鉱をさがす。読者の子どもたちは、自分もやってみたくて、わくわくする想像の世界に引き込まれます。</p>					

47	<b>海へ出るつもりじゃなかった 上・下</b>				小学校高学年
	アーサー・ランサム 作 神宮輝夫 訳	岩波書店	2013年5月	Ⓔ978-4-00-114182-5 Ⓕ978-4-00-114183-2	ⒺY7-N13-L128 ⒻY7-N13-L129 (ⒺⒻ933-ラン)
<p>本作品は、ランサムシリーズの7作目で上下2巻です。子どもたちが経験する命に関わる危機に、シリーズのなかでは、もっともスリルに富んだ内容で、手に汗にぎる作品です。          河口の町、ピン・ミルにやってきたツバメ号の子どもたちは、帆船ゴブリンをあやつる青年ジムと知り合い、一緒に川を下ることに。ところがジムが不在のあいだに、船はいかりを失い、強風にあおられ、霧の中を外海に流れ出てしまいます。乗務員は子どもたちだけ。船を戻そうと必死に努力しますが、北海をまっすぐ進んでしまいます。やがて朝に…。          今作はシリーズ中、最も主人公たちの成長が強く感じられる作品となっています。</p>					

48	<b>さよならを待つふたりのために</b>				高校生
	ジョン・グリーン 作 金原瑞人、竹内茜 訳	岩波書店	2013年7月	978-4-00-116405-3	Y9-N13-L184
<p>TIME誌の2012年度の小説第1位に選ばれるなど高い評価を獲得した、若い世代も共感しやすく、幅広い読者に受け入れてもらえる作品です。          ヘイゼルは十六歳、甲状腺がんが肺に転移して、もう三年も闘病生活を続けているが、ある日骨肉腫で片足を失った少年オーガスタスと出会い、互いにひかれあう。ヘイゼルの愛読書は「至高の痛み」という未完の小説だった。続きをどうしても知りたいというヘイゼルの願いを知ったオーガスタスは、オランダ在住だという作家に、2人で会いに行こうと思案するが、やがて思いもよらない展開に…。          一見重い内容ですが、ユーモアを交えたテンポのよい文体と絶妙な訳文で一気に読んでしまいます。そして、二人の言葉の生々しさ、切実さが読者の心にしっかり残ることでしょう。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

49	<b>めざせ！給食甲子園</b>				小学校高学年 中学生
	こうやまのりお 著	講談社	2013年8月	978-4-06-218231-7	Y5-N13-L330
<p>全国学校給食甲子園に密着した著者によるノンフィクションの作品です。 舞台は第七回全国学校給食甲子園。そこに出場するのは普段学校給食に携わっている栄養士や調理師の皆さん。決勝戦の実況をベースに、「子どもに安全でおいしいものを届けたい」という熱い思いや、給食にまつわる子どもたちとのエピソードなどを織り込み、物語は展開していきます。</p> <p>子どもたちの健康な体を作るのは、毎日の食事です。給食は健やかな成長を願う栄養士・調理師・生産者など様々な人の努力によって作られていることを知るきっかけとなる作品です。</p>					

50	<b>図書館のトリセツ</b>				小学校高学年以上
	福本友美子, 江口絵理 著	講談社	2013年10月	978-4-06-218497-7	Y5-N13-L376
<p>「トリセツ」とは、「取りあつかい説明書」の略。「図書館のトリセツ」は、図書館の正しい取りあつかい方を楽しく知るための本です。 図書館ってどんなところ？ 図書館の本はどんなふうに使っているの？ 調べ学習や自由研究での図書館の使い方は？ 小学生が初めて図書館を利用するときのとまどいや、悩みをすっきり解決します。 図書館を通して、本と出会い、本と仲良くなるための方法をイラストやクイズでくわしく解説する一冊です。</p>					

★ 51	<b>ミサゴのくる谷</b>				小学校高学年 中学生
	ジル・ルイス 作 さくまゆみこ 訳	評論社	2013年6月	978-4-566-01385-8	Y9-N13-L170
<p>幼いころから動物が好きで、長じて獣医になった著者。農場に保護鳥であるミサゴが巣を作り、この野鳥を純粋に守ろうとする子どもたちの物語です。 スコットランドの農場に住む少年カラムは、クラスメートのアイオナから、「あなたの農場には、秘密がある。」と告げられます。なんと保護鳥であるミサゴが、巣を作っているというのです。少年たちは、母鳥をアイリスと名付け、そっと見守ろうとします。 一羽のミサゴを通して、子どもたちだけでなく、大人たち、また海を越えたアフリカの人たちへと思いがつなげていく、あたたかな物語です。</p>					

★ 52	<b>サリー・ジョーンズの伝説：あるゴリラの数奇な運命</b>				中学生 高校生
	ヤコブ・ヴェゲリウス 作 オスターグレン晴子 訳	福音館書店	2013年6月	978-4-8340-2610-8	Y9-N13-L149
<p>これは、ある嵐の夜、アフリカの熱帯雨林の奥深くで生まれたゴリラの女の子の物語です。 彼女の名前は、サリー・ジョーンズ。ジャングルで幸せに満ちた生活をおくるサリーを突然の不幸がおそいます。ゴリラの群れを襲った密猟者にとらえられたサリーは、その後、数奇な運命に翻弄されてゆくのです。友情と愛情、謎めいた事件、ジャングルにひそむ悪と裏切り、そしてあこがれと希望…。サリーは幸せになれるのでしょうか？ 過酷な運命に翻弄されながらも、希望を持ち続けるサリー、未来を信じる強さを感じさせます。繊細かつコミカルな雰囲気の間挿絵とともに、子どもから大人まで幅広く楽しめる一冊です。</p>					

53	<b>ナースになりたいクレメンタイン</b>				幼児 小学校低学年
	サイモン・ジェームズ 作 福本友美子 訳	岩崎書店	2013年10月	978-4-265-85047-1	Y18-N13-L268
<p>看護師さんに憧れる女の子の気持ちを明るく描いた作品です。 クレメンタインは、お誕生日のプレゼントにナースの制服と救急セットをもらいました。早速、お父さん、お母さん、愛犬ウエルントンも診察して包帯を巻いてあげました。ところが、弟のトミーは、「ナースなんかいらない」と言って診察させてくれません。そこに、緊急事態発生！トミーが登った木から落ちそうに、クレメンタインが助けます。トミーは、擦り傷にはじめて包帯を巻かせてくれました。 作者のユーモアたっぷりの楽しい文と絵の魅力があふれ、福本氏の翻訳が読みやすく、ほのぼのとさせる一冊です。</p>					

54	<b>世界クワガタムシ探検記：ダーウィン・ビートルを求めて</b>				小学校高学年以上
	山口進 著	岩崎書店	2013年7月	978-4-265-04366-8	Y11-N13-L526
<p>40年近く海外のクワガタムシを追い続けた著者による、世界の珍しいクワガタムシの生態の記録です。単なる図鑑ではなく、文章も充実させ、読み応えある探検記です。 ニューギニアでのバブアキンイロクワガタとの出会いからダーウィンの足跡をたどって、憧れのチリクワガタ(ダーウィン・ビートル)の生態を記録するまで。現地の環境や人々の交流の様子も描かれています。現地で野生の姿を美しく迫力ある生態写真で示しました。 著者は、小学四年生の時にダーウィンの「ビーグル号航海記」を読み、海外への探検と昆虫に魅了されます。子どもたちに夢を追い続けることの可能性を伝えています。</p>					

★ 55	<b>今森光彦の昆虫教室とりかた・みつけかた</b>				小学生
	今森光彦 作 今森光彦, 今森真弓 撮影	童心社	2013年6月	978-4-494-01448-4	Y11-N13-L505
<p>虫とりの心得や虫とりに持っていきものなど、基本的な情報を網羅しています。今森光彦氏が実際におこなった写真を、分かりやすく解説つきで掲載しています。 今森光彦の昆虫教室シリーズ、その1です。虫が大好きな写真家・今森光彦氏が、虫のとりの方を紹介。虫とりのちょっとしたコツやまめ知識など情報満載です。また、虫がすむ自然に目をむけ、生きものにとっての環境の大切さを教えてください。 この本をきっかけに、子どもたちは五感を使い、虫と知恵くらべをしながら自然や環境と生きもの関わり、大切さを体験することができます。</p>					

No.	書名				対象
	著者名等	出版者	出版年月	ISBN	当館請求記号

今森光彦の昆虫教室くらしとかいかた					小学生
★ 56	今森光彦 作 廣野研一 絵 今森光彦, 今森真弓 撮影	童心社	2013年6月	978-4-494-01449-1	Y11-N13-L506
	<p>生きている虫を直に観察できることは、子どもたちの楽しみであり、昆虫の飼育は、虫とりの好奇心をさらにふくらませます。そんな子どもたちに向けた虫の本です。</p> <p>今森光彦の昆虫教室シリーズ、その2です。虫は野外でどんなくらしをしているのか、人気の虫の面白い生態を写真で紹介し、また虫の飼い方やカブトムシからアメンボ、クモなど、虫のケージに入れるもの、エサをイラストで分かりやすく解説しています。</p> <p>カブトムシ、クワガタムシなど、人気の虫は、特に卵の生ませ方や羽化の様子なども掲載しており、子どもたちには楽しくて興味満載の作品です。</p>				

光のうつつしえ：広島ヒロシマ広島					中学生
57	朽木祥 作	講談社	2013年10月	978-4-06-218373-4	Y8-N13-L831
	<p>戦後25年くらい経ったころの広島を舞台に、戦争を知らない被爆二世の中学生が我が事として戦争を知っていくプロセスを追っています。中学1年生の希末は、灯籠流しの夜に、見知らぬ老婦人から年齢を問われる。仏壇の前で涙を流す母。同じ風景ばかりを描く美術教師。ひとりぼっちになってしまった女性。そして、思いを寄せた相手を失った人…。希末は、同級生の友だちとともに、よく知らなかった“あの日”のことを、周りの大人たちから聞かせてもらうことに…。</p> <p>戦争をまったく知らない世代に対して、改めて戦争の悲惨さ、恐ろしさ、罪を皮膚感覚で訴える作品です。</p>				

おどろきのスズメバチ					小学校高学年 中学生
58	中村雅雄 著	講談社	2013年6月	978-4-06-218288-1	Y11-N13-L407
	<p>世の中への扉シリーズです。40年以上スズメバチを研究し続けてきた著者、“ハッチー先生”こと中村雅雄氏の目を通して描いています。昆虫の生態系のトップに君臨するスズメバチ。近年は都市部にも巣をつくり、人を襲うおそろしい「害虫」として悪名高い存在。長い間スズメバチを観察し続け、知られざる生態、自然のすばらしさ、環境問題、人間とスズメバチとの関わりを伝えていきます。</p> <p>この1冊で、スズメバチ博士になれるだけでなく、身近な自然に思いをはせ、生物多様性、食物連鎖について理解できる作品です。</p>				

森をつくる					中学生
59	C・W ニコル 著	講談社	2013年3月	978-4-06-217679-8	Y11-N13-L237
	<p>日本の自然のすばらしさを語り続けた冒険心に満ちたひとりの男性の興味深い半生を紹介している作品です。</p> <p>C・W ニコル氏が作った「アフアの森」は2011年に25周年を迎えました。氏の人生そのものであり、「冒険」「環境保護」「出会い」「希望」「葛藤」「心・魂」といった多くの人の心に響くキーワードが結実しているこの森について語ることで、氏の冒険に満ちた半生、森がもたらす喜び、世界的に際立つ日本の自然のすばらしさなどを伝えていきます。</p> <p>日本の自然が、世界的に見ても、いかに豊かで多様性に満ちているかを表現している作品です。</p>				

紙コップのオリオン					中学生
60	市川朔久子 著	講談社	2013年8月	978-4-06-218452-6	Y8-N13-L704
	<p>学校と家庭を舞台に、人と人とのつながりについて考えさせられる作品になっています。</p> <p>中学2年生の男子、橘論里は、実母と継父、妹と暮らしている。ある日、学校から帰ると、母親が書き置きを残していなかった。一方、学校では、轟元気と河上大和、そして水原白とともに、開校20周年記念行事の実行委員をやることに。記念行事はキャンドルナイト。校庭に描くことになった冬の星座に思いをはせながら、論里は自分と自分をとりまく人たちのことを考え始める。</p> <p>多感な中学生の複雑な思い、日常生活で情性に流されてしまいがちな自分、本当に大切なものはなんなのかを伝えてくれる作品です。</p>				

つなひき					幼児
61	ジョン・バーニンガム 作 谷川俊太郎 訳	BL出版	2013年3月	978-4-7764-0568-9	Y18-N13-L80
	<p>いじめられっこの野ウサギが知恵をはたらかせて、カバとゾウをやりこめる、アフリカの民話をもとに描かれた作品です。</p> <p>いつもカバとゾウにいじめられ、うんざりしていた野ウサギ。そこで一計を案じた野ウサギがふたりに綱引き勝負をもちかけますが…。堂々とした体をもちあわせたカバとゾウが野ウサギに言いくるめられ、勝負のゆくえはいかに!?</p> <p>バーニンガム氏が描く動物の力強さ、空を真っ赤に染める夕景、大きな月の下で綱引きをする大胆な構図…。ダイナミックで自然の雄大さをみごとに描いた作品です。</p>				